



(N, Sensei wo Oshu.)

ん
先
生
を

襲
う。

Blue Archive
Unofficial Fanbook

ブルアカ逆シ合同

Blue Archive Unofficial Fanbook

N, SENSEI WO OSOU. INDEX ?



未読メッセージ(9)

最新



放課後スイーツ部(ハロウィン)

くれりて

01



シロコ*テラー

だにまる

05



アリウススクワッド(水着)

まめおじたん

11



ミカ

印カ・オブ・ザ・デッド

23



キララ

まんす

27



リオ&トキ

じゃが山たらヲ

33



ハスミ

ゴム

45



ヴァルキューレ警察学校(水着)

月並甲介

49

主催

サツキ

やもげ

57

TRICK or TRICK

10月31日

お、みんないらつしやい
ちゃんとお菓子用意し...

なんて?

Presented by
くれりて

お菓子はいいんで
イタズラしまーす♡

ええ!?そんな理不尽な...ツ

...アイリ?

ア、アイリっ
助け.....

うおっ







ほら先生っ
射精けっ♡射精けっ♡

か、カズサ…ッ
激しすぎ…うっ

ほらほら、まだ
射精せ^だるでしよ

ゆ、ゆるして…
みんなどうしたの

…覚えてないの？
先生、謝肉祭の時…

「みんな可愛くて
これなら襲われたいね」

…って言ったんだから
責任取ってよね

カ、カズサちゃん
もう一回いい…？

あ、アイリずるい！あたし
まだ腔内にもらってない！

うむ、私も
同行しよう

ひいん…



ん、先生
また会ったね

偶然だね！
お買い物
してたの？

うん
ご飯の材料を
買いに来た

食べに来る？

えー！いいの？
じゃあお言葉に
甘えて！

袋持つよ

ん、じゃあ
こっちお願い

カサッ

Presented by
だにまる

入って

お邪魔しますー



ゴム…用意したけど…

おちゅっ♡

先生はコッ^生チのほうが
好き…でしょ…?

ん…っ♡

先生のおちんちん…
気持ちいい…♡

ちよっ！シロコ…っ！
それダメ…ッ

ダメ…♡
やめない…♡

見て…先生…♡
先生のおちんちん全部
飲みこんじゃってる…♡

えっち…♡





Presented by
まめおじたん













何でも…?
じゃ、じゃあ
噛んで…

まさか
首を…か?



私は一度
先生を傷つけた…
正直気乗りは
しないのだが

大丈夫…
だから



…先生が
望むならば
応えよう



あっ…はっ…
サオリ…
本当にごめん

謝るな
むしろ先生の
役に立てて
嬉しいんだ

何でも
命令してくれ



困ったな…

うあっ…

こんな身体では
他の生徒が
心配するぞ

サオリ…ッ
もっと
強く噛んで…



特別って…
大切より
嬉しいんだね

こんな形だけど
私の気持ちだよ

他の子には
出来ないけど
アツコには特別



先せ…好き♡

好き…♡

ちゅ

もう…
射精る…

うん…
射精して…♡



まって、
息…んっ



先生…
トロンとして
可愛いね…♡

か、
挿入のは…
んううっ











私先生のこと
犯してるっ♡

こんなの絶対
嫌われちゃうのに♡

はっ♡

あゝ♡

ハキニ♡

ハキニ♡

ハキニ♡

ハキニ♡

先生好き♡

好き♡♡♡

ほ♡

あゝ♡

先生の赤ちゃん
欲しいっ♡♡♡

キーン♡

んん♡

ハキニ♡

ハキニ♡

ハキニ♡

ハキニ♡

ハキニ♡

ももう
射精る...

ミカ
抜いてっ

外に...!

おちやっ

おちやっ

おちやっ

おちやっ

おちやっ

先生...

流石に私のこと
嫌いになったよね

はあ...

!

ササで...
おちやっ

おちやっ
おちやっ
おちやっ

おちやっ

ミカは大事な
生徒だよ...!

先生...
おちやっ

この後更に
精子10億匹を
搾り取られた

おちやっ











そして……



二人とも
待って!!
考え直して!

私をレイプ
しても何も
良い事なんか!...

ガキヤ

人間の
悪い事を
仰らないで
ください

Presented by
じゃが山たらう

ただ先生の
同意を得ず
性行為をする
だけです

それを
レイプって
いうんだよ

会長が先生へのお詫びで悩んでいたの

私がけしかけ...
もといアドバイス
しました

何てこと
吹き込むの

うぐあつ!!

でもこっちは
こんなに正直
ですよ先生

ほら、会長も
ご奉仕して
あげましょう

うつ...
やめっ...!

リオ
良い子だから
思い直して...!

...上手く
できなかったら
謝罪するわ

うわーん







うおおっ!!

おおあっ!!

うおおほっ
うぐっ...!!

だめっ!
てるって!!
離してっ

うおおっ!!



うあああつ
……つつ!!

びゅる



うああ

びゅる

びゅる



ほっ



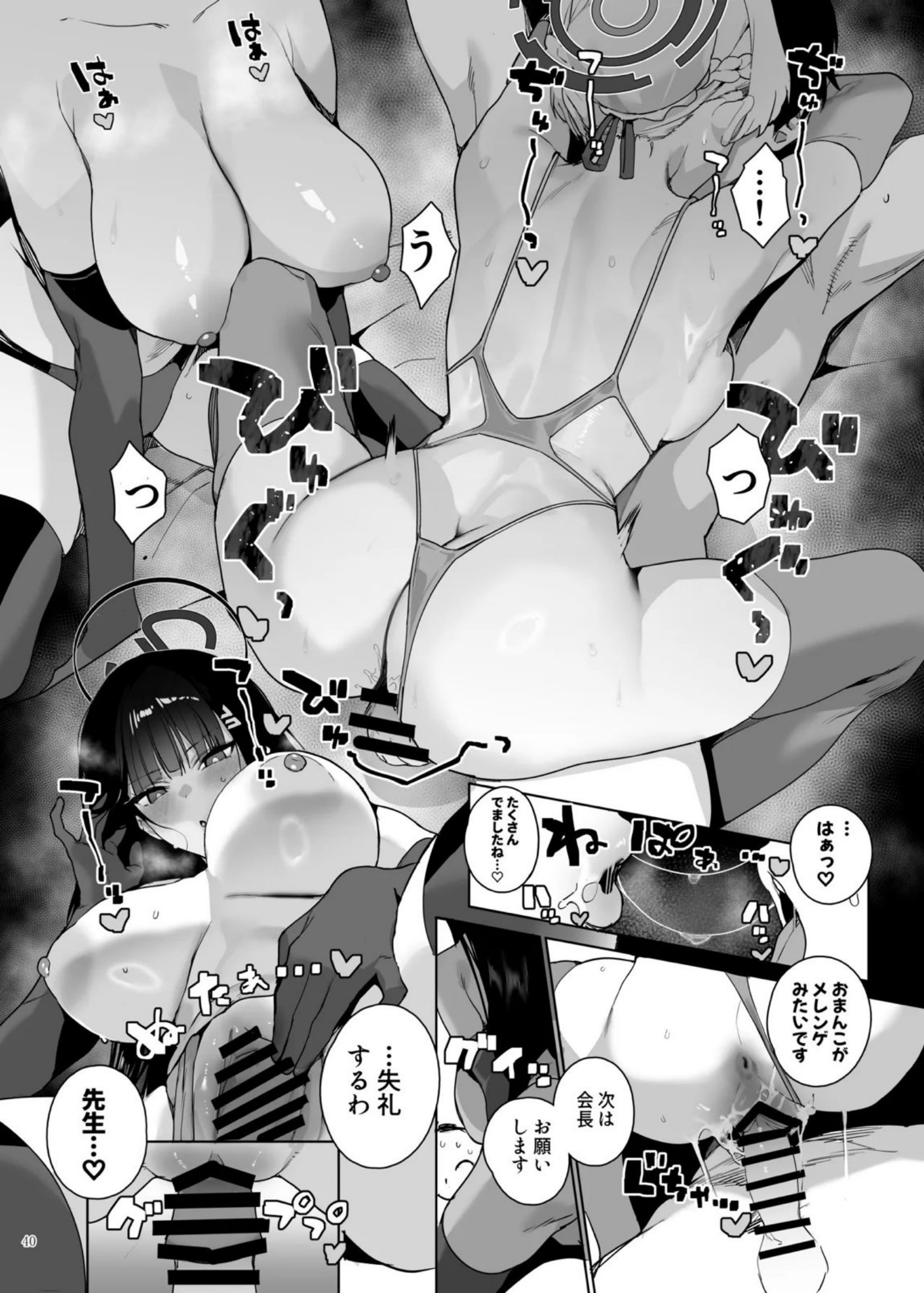
先生

は
み

私たちの
準備も
できました

それでは……





わあ♡

わあ♡

う

ザッ

ザッ

…!

びゅ

びゅ

っ

びゅ

たくさん
できましたね♡

わ

…はあ♡

おまんこが
メリンゲ
みたいです

…失礼
するわ

先生…♡

次は
会長
お願い
します

ビュッ



はあっ♡
あっ…♡
やっ♡

んっ…♡
あっ♡

んあっ…♡
先生っ…♡

先生っ♡
あっ♡





お尻の穴
ダメだって

もっつ♡
突いて
ちょうだい♡

激しっ…!
ああっ♡
熱いっ…♡

だめだ
でるっ!

んおっ…!!
おほっ…♡

先生…っ♡
先生…っ♡



こんなに
射精して…♡
すごいです
先生…♡

まだ
脈うって
いるわ…♡

明日の昼まで
予定がないのは
把握済みですので…

覚悟
なさって
ください…♡







裏手とはいえ
こんな危険物を
取り出して

先生は何を
しようとして
たのかな



みんな積極的
だからねえ

気持ちには
判らなくも
ないケド♡



これは早急な
対処が必要です!!

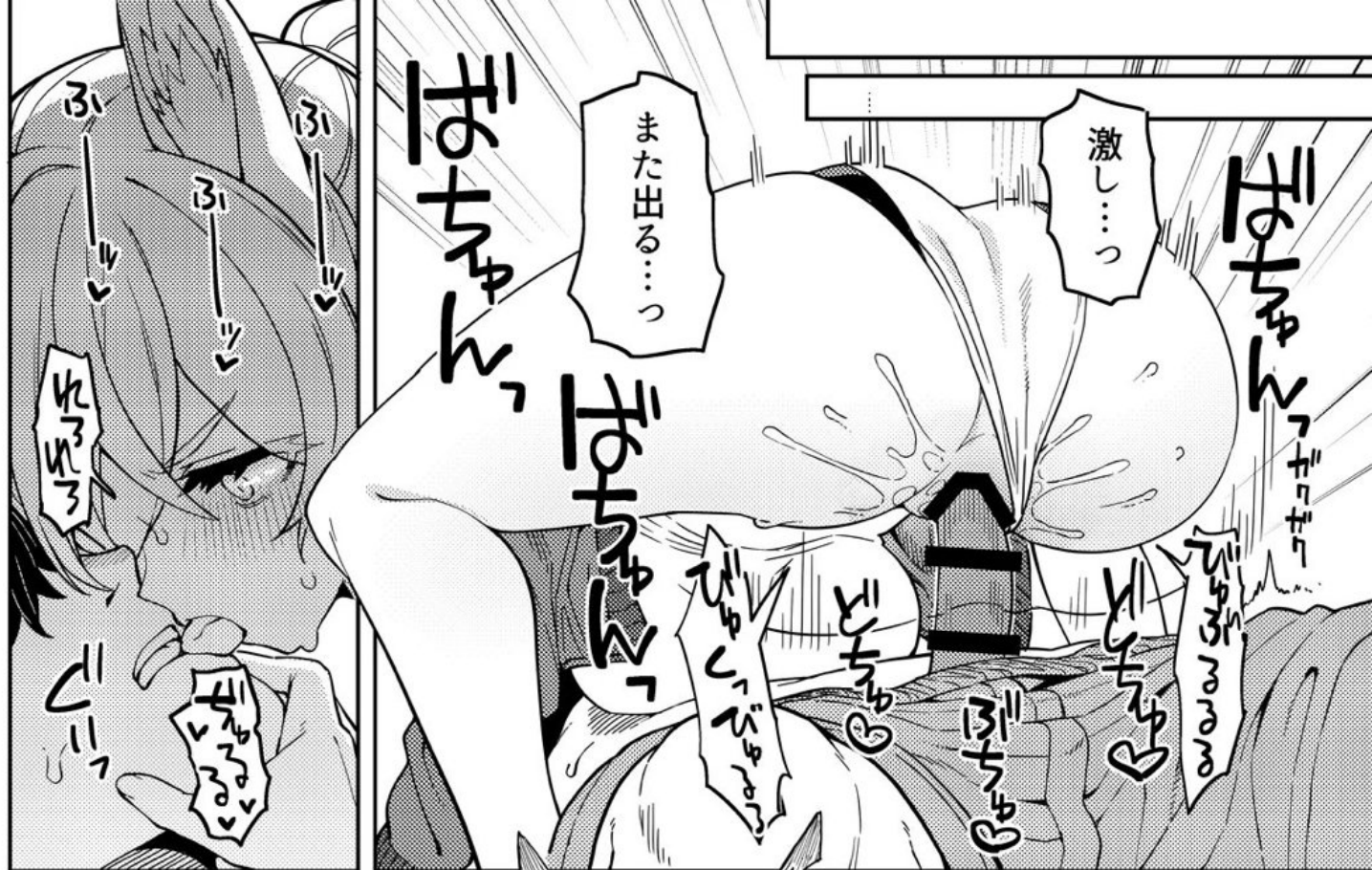
正常な
判断力の
喪失:



誰かに
見られてたら
まずかったね

襲われても
文句言えない
ってやつ♡









もう容赦
できません
からね...♡

これだけ
お願いしても
難しいなら



「アハッ！ 無様ね先生！ 無抵抗で椅子に縛り付けられるなんて！」

「サツキなら悪いようにはしないだろうから？」 ふふっ、信じてくれてありがたいわ、先生」

「でも、先生にはこれから拷問をするわ」

「安心して、痛くはないから」

「先生のための特別な拷問よ。いくら先生と言えども耐えられるかしら」

「催眠が効かない先生が悪いのよ？ この前なんて逆に私に催眠をかけてきたんだもの」

「今後先生の協力を得るために、情報部が考えた方法で先生を籠絡する事にしたの」

「少し恥ずかしいけれど……先生の協力を得るための必要経費ね」

「サツキのためならこんな事されなくても協力する？」 そ、そう……」

「でも、せっかくだから続行するわ。これを機に、先生との距離が縮まるかもしれないし。痛かったら言ってちょうだいね？」

「ここからは、情報部で調べた先生の弱点に沿って進めていくわ」

「先生の弱点その1。先生は胸の谷間が好き」

「ふふ、これは知っているわ。私の胸もよく見ているものね。照れなくてもいいのよ？」 私と先生の仲じゃない」

「ほら、私の谷間、じつと見て？」

「こんなに深く、こうして両側から腕で寄せると……ふふ、柔らかそうでしょう？」

「先生ったら釘付けね。いいわよ、そのままじつと見ていて？」

「そのままそのまま……えいっ」

「あとは……ばふばふ、ばふばふ」

「こんな風に胸で包まれると嬉しいと聞いたわ」

「気持ちいい？ 息は苦しくない？」

「ふふ、さつきまでの抵抗が嘘みたいに大人しくなったわね。最初から催眠よりこっちにすればよかったかしら」

「あら……」

「股間が膨らんできたわね、先生。鼻息も荒いし、ボッキというものをしてるのかしら？」

「ズボンのチャック、失礼するわね……きやっ」

「す、すごい勢いで反り経ったわね……ふふ、籠絡は順調という事かしら。このまま次の工程に移るとするわ」

「弱点その2。先生は、胸で挟まれる行為が好き」

「バイズリ、というのよね？ 情報部の皆が秘密の本棚まで調べ上げてくれたわ。胸で挟んで擦るのがいいの？ なんだか不思議ね」

「上を脱ぐから、少し待ってちょうだい。……ふう。やっぱり下着は窮屈ね。何度新調しても、胸が苦しくて……」

「あら、胸が気になるの？ ふふ、慌てて目をそらしても無駄よ。ほら、こうして少し揺らすだけで……ふふ、もう目を離せないみたいね。催眠術はコインじゃなく胸でやるべきだったかしら」

「足元、失礼するわね。先生の脚の間に座って、ローションをしっかりとなじませて……」

「ん、しょ……おまちかねのバイズリはどうかしら、先生」

「ふふ、挟んだだけなのにもうビクビクしてるわね」

「私のやわらかいおっぱい、存分に堪能して頂戴」

「安心して。ちゃんと資料を見て練習しておいたもの。まずはこうしてゆっくり上下に……あんっ」

「ふふ、はみ出ちゃった。先生の、とっても元氣ね」

「いい子いい子。いっぱい可愛がってあげるから大人しくしてちょうだい」

「ずりずり、ずりずり」

「刺激に慣れさせないよう、たまにこうして左右を互い違いに動かしたり。柔らかさが伝わるよう、小刻みに揺らしてみたり。どう？ 気持ちいいかしら、先生？」

「ふふ、女の子みたいに甘い声。普段あんなに立派な先生がこんな情けない顔をするなんて。なんだか楽しくなってきたわ」

「ずっと盗み見てたおっぱいに挟んでもらえて嬉しいわね。先生専用のおっぱいで、いっぱい気持ちよくなってる頂戴」

「ふふ、腰が動き始めたわね。自分から快楽を求めてくるのは、籠絡の一手手前ね」

「気持ちよくなるために息を合わせましょう。いち、に。いち、に。ずり、ずり。ずり、ずり」

「ふふ、もう出そう？ おっぱいに精子を吐き出したくなかった？」

「でも、だるめ」

「切なそうな顔で見てきてもダメよ、先生。これ以上気持ちよくなりたいなら、私の要求を聞いてもらう必要があるわ」

「一ヶ月間、ゲヘナ情報部に協力を誓いなさい」

「それはできない？」 でも、先生のおちんちんは射精したそうにしているわよ？ 私のおっぱいで、気持ちよくなりたいわよね？」

「ほら、こうしてゆさゆさっておっぱいを揺らして……ふふ、おっぱいであまーくピンタされたら、快楽で思考が鈍っていいでしょう？」

「このまま気持ちよくなりましょう？ ふわふわのおっぱいに、ぴゅっぴゅって射精しましょう？」

「頑なね……残念だけど、それでこそ先生ね」

「じゃあ、こうしましょう」

「その……協力の代わりに、私との時間ももっと増やしてくれる？」

「先生と親しくなれば長期的に見てゲヘナに有利だし……何より私が、先生ともっといたいもの」

「どう、かしら……？」

「取引は断るけど、サツキとの時間は増やす？」 先生……」

「ふふ、ありがとう先生。すごく嬉しいわ」

「じゃあ、ここからは『取引』ではなく『ご奉仕』をするわね」

「遠慮しなくていいわ。取引関係なく、先生には気持ちよくなってもらいたいもの」

「……ふふ、すごい声。一度緊張が解けたからかしら。必死に私の名前を呼んで、可愛い」

「一生懸命おっぱいに腰を打ち付けて。ふふ、すっかり私に夢中なようね」

「もう出そう？ なら、胸の圧を強めて……」

「出して、先生」

「私の胸に……っばい、出・して」

「あっ……」

「……ふふ、すごい量。そんなに気持ちよかったのかしら」

「謝らなくていいわ、先生。私が先生に気持ちよくなってもらいたかったんだもの。それに、先生の弱点を知って、先生との距離が縮まった気がするわ。先生もそうかしら？」

「先生が望むなら、またしてあげるわね。パ・イ・ズ・リ」

「だから、これからもずっと、よろしくね、先生」

END

57

★あとかき★

Comment

くれりて

P.01

放課後セックス部こわい…助けて…



だにまる

P.05

シロコ*テラーをたくさん甘やかしたい…。休憩室のお菓子食べちゃったボイス好き…。愛おしい…。



まめおじたん

P.11

集団レイプ中に失礼します……



印カ・オブ・ザ・デッド

P.23

お姫様がそんなお下品エロ蹲踞で先生を腰へコ逆しするかッ！！いい加減にしろよミカ！！



まんす

P.27

夜桜キララの爪先で乳首カリカリはまだガンには効かないが、そのうち効くようになる



じゃが山たらヲ

P.33

描かせていただき誠にありがとうございます！



ゴム

P.45

ハスミのたっぱはもうそういう事だっていう公式からの明確なメッセージだと勝手に感じてる



月並甲介

P.49

取り締まる側が「一番治安を乱してるのはお前じゃい！」してるのが一番美味しい



やもげ

P.57

ブルアカの生徒たちに襲われたかったので主催しました。志を同じくする偉大な先生がたくさん集まってくださり素敵な一冊になりました。BIG感謝…。生徒たちの『欲』に吞まれる時間を心ゆくまで楽しみましょう。

主催

執筆者

印カ・オブ・ザ・デッド

くれりて

ゴム

じゃが山たらヲ

だにまる

月並甲介

まめおじたん

まんす

やもげ

Special Thanks

やもげ文庫の読者の皆様

デザイン

FLOSHIKI DESIGN (@jimgi0509)

主催・編集

やもげ

Twitter(X): @yamoges

Mail: yamogeyamoes@gmail.com

(すべて五十音順・敬称略)

サークル: 角砂糖

発行: 2024年12月29日

印刷: 株式会社 緑陽社



ん、先生を襲う。

